



尻別川の未来を考える オビラメの会

OBIRAME RESTORATION GROUP
NEWSLETTER May 2013

39

尻別川のイトウたちにも 春がきました！

倶知安町内の尻別川支流で5月1日早朝、イトウ親魚たちの今季初めての繁殖遡上が確認されました。繁殖期を間近に、数日前から現場のパトロールを続けていた倶知安風土館の岡崎毅館長が、朱色の婚姻色を身にまとった雄（体長およそ1m）3個体の姿を水中に発見。「オビラメの会」事務局にも即座に一報が入りました。

尻別川流域でのイトウの繁殖遡

上は、2010年5月11日、およそ20年ぶりにこの支流で自然繁殖再開が確認されて以降、4季連続して確認されたこととなります。昨年の初確認日は5月3日でした。

「オビラメの会」はただちに「見まもり隊」活動を開始。5月2日午前、遡上河川の河川敷に「オビラメハウス」を設置したほか、今季が初めてとなる見学者の安全確保のための「観察ルート」を設営しました（4

ページに関連記事）。倶知安町役場、倶知安町風土館との協働による「見まもり隊」メンバーが24時間体制で現場に駐在し、イトウたちが無事に繁殖期間を過ごせるよう、見守っています。

繁殖のために遡上してきた尻別イトウたち。威嚇し合う雄同士の間で、水面に激しい水しぶきが上がった。2013年5月1日、倶知安町内で。撮影・坂田潤一。



「南限のイトウ」保護活動 に対する深いご理解と、

「前田一步園賞」を 受賞しました

当会はこのほど、北海道後志総合振興局のご推薦をいただき、「平成24年度・第30回前田一步園賞」(副賞20万円)を受賞いたしました。一般財団法人前田一步園財団(釧路市)ならびに同振興局各位に深く感謝申し上げます。

■受賞の理由

野生個体群の南限とされる尻別川のイトウについて、同水系のセンサスなどの実施により個体群としては崩壊状態であることを明らかにした上で、イトウの資源回復について様々な取組みを実践。2012年には放流魚(識別魚)の母川回帰による繁殖も確認され、世界で初めてイトウの地域個体群復元に向けた再導入実験にも成功。長きにわたる同会の地道な活動により、同水系のみならず道内各地におけるイトウ保護の重要性の認識を高めることにも大きく寄与。(同財団ウェブサイトから)

北海道 e-水プロ ジェクトに採択

北海道環境財団「北海道 e-水プロジェクト2013」助成事業として、当会の「絶滅危惧種イトウ尻別川個体群の繁殖地の保全活動事業」(尻別イトウ繁殖河川での見まもり活動、環境教育・啓発活動など)の採択が決定しました。助成額は約45万円です。

同プロジェクトは〈北海道ココ・コーラボトリング株式会社からいただいた寄附金の寄附目的に基づき、北海道内における各地域で活動を行う団体の事業に対して、公益財団法人北海道環境財団が助成するとともに、水環境保全の意義、重要性を伝えるために、「北海道 e-水フォーラム」を開催〉(同プロジェクトのウェブサイトから)。同社はこのプロジェクトに対して、コーヒー飲料「ジョージア・サントスプレミアム」の売り上げから、1本あたり0.5円ずつを寄付しています。

当会のイトウ個体群復元活動にご支援をいただき、まことにありがとうございます。

「北海道 e-水プロジェクト2013」採択団体が集まって開かれたキックオフミーティングでのひとこま。2013年4月20日、栗山町の旧雨煙別小学校ココ・コーラ環境ハウスで。撮影・坂田潤一。



尻別川イトウ保全 パネル展開催へ

公益財団法人河川財団(東京都中央区)は、今年度の河川整備基金助成事業として、当会の「尻別川の河川環境と幻のオビラメ(イトウ)の保護活動のためのパネル展示会の開催」事業を採択しました。助成金額は50万円です。当会のイトウ個体群復元活動にご理解とご支援をいただき、まことにありがとうございます。

この事業では2013年秋に尻別川流域(ニセコ町を予定)で、また2014年1月14日~19日に都内で、それぞれパネル展示会を開催します。

手厚いご支援をまことに ありがとうございます。

「ほっく一基金」が 100万円寄贈

当会は2013年5月2日、北洋銀行より「ほっく一基金」2012年度分寄付金（現金100万円）の贈呈を受けました。

同基金は、「ほっく一定期預金」の0.02%相当額を北洋銀行が拠出して設立。北海道内の生物多様性保護活動の支援を目的に、北洋銀行・北海道・北海道環境財団・日本動物園水族館協会北海道ブロックからなる選定協議会が選定した団体に寄付が行なわれています。

5月2日、倶知安町内で行なわれた授賞式では、草島清作会長が「イトウ尻別川個体群の一日も早い復元に向け、いっそう努力を続けていくことをお約束します」と述べ、北洋銀行の横内龍三会長に感謝状を贈りました。

■選定の理由

生息南限とされる尻別川のオビラメ（イトウ）の絶滅寸前の危機に際し、地元有志と研究者から結成された団体。世界で初めて確立した手法「イトウの個体群復元」及び尻別川パトロールなどへの支援のために、助成させていただくことにしました。（北洋銀行ウェブサイトから）

横内龍三・北洋銀行会長（右）から「ほっく一基金」寄付金の目録を受け取る吉岡俊彦・オビラメの会事務局長（中央）、草島清作・同会長（左）。2013年5月2日、倶知安町の後志総合振興局内で。撮影・平田剛士。

パタゴニア日本支 社など2社からも

パタゴニア日本支社（鎌倉市）はこのほど、米国のタイズ財団を通じて、「オビラメの会」に3148ドル（約30万円）の活動助成を決定くださいました。また丸紅フットウェアパタゴニアフットウェアディビジョン（東京）からも、約53万円の助成金をいただけることになりました。

パタゴニア日本支社には2000年11月からこれまで、足かけ14年にわたって「オビラメの会」支援を継続いただいています。ご支援のおかげで、この間に当会は、イトウ再導入実験に世界で初成功を収めるなど、大きな成果をあげることができました。改めてお礼申し上げます。

タイズ財団は「社会的正義、経済機会の幅広い共有、たくましい民主的なプロセス、持続可能な環境の実現を目指して活動する慈善機関」として知られています。

セブン-イレブン 記念財団助成決定

一般財団法人セブン-イレブン記念財団はこのほど、2013年度の公募助成（「野生動植物種の保護・保全」）で、当会が申請した「絶滅危機種イトウ尻別川個体群の復元事業」への助成を決定しました。助成金額は約43万円です。

同財団ウェブサイトによれば、〈セブン-イレブン店頭でお客様からお預かりした募金とセブン-イレブン本部からの寄付金他を基に、セブン-イレブン加盟店とセブン-イレブン本部が相互協力のもと環境市民団体への支援活動や地球温暖化防止事業、自然環境保護・保全、広報活動などを行なっています〉。

当会は2005年度、2008年度、2011年度にも同財団からの手厚い助成をいただいて、尻別川でさまざまなイトウ保護活動を実施してきました。深くお礼申し上げます。



「尻別川イトウ保全意見交換会」から 関係機関との協働事業がスタート

尻別川のイトウ個体群保全に向けて、倶知安町が主催する「尻別川イトウ保全に関する意見交換会」がスタートしました。昨年10月、倶知安町役場で開かれた初会合には、当会を含め9つの機関・団体から計15人が出席。イトウ繁殖期に繁殖河川でどのようにイトウ親魚たちの安全を守り、自然繁殖をサポートするか、といった重要な課題について対策を論じました。

この成果は、今年5月の繁殖期に合わせ、イトウ親魚遡上河川で、従来の「オビラメハウス」(パトロール拠点)設置に加え、見学者の安全を図るために新たに観察ルートを設け、川辺から一定の距離に簡易柵(ロープ)を設営する、といった具体策として実現(右の写真)。

今後も相互に連絡を取り合いながら、イトウ尻別川個体群の復元に向けて、協働を続けていく方針です。

■初会合参加機関・団体

倶知安町企画課、倶知安風土館、北

海道後志総合振興局小樽建設管理部 真狩出張所、同農村振興課、同水産課、同環境生活課、尻別川連絡協議会、後志地域生物多様性協議会、オビラメの会(順不同)



「オビラメの会」は新入会を歓迎します

「尻別川の未来を考えるオビラメの会」は、会費と寄付金などで運営される市民団体です。みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費は2000円です。郵便局の振り込み用紙に住所、氏名、電話番号を明記のうえ、入会希望と書き添えて、右のゆうちょ銀行口座にお振り込み下さい(手数料はご負担願います)。会員期間はお振り込みいただいた日から年度末(5月)までです。おおむねひと月以内にニュースレターをお届けします。

■年会費 2,000円

■ゆうちょ銀行

02720-9-11016

■加入者名「オビラメの会」

会員のみなさまへ

2012年度の年会費納入期限は5月末です。手続きはお早めに。

WANTED



標識オビラメ見つけたら

☎ 0136-44-2472

オビラメ事務局まで

オビラメの会ニュースレター 第39号(2013年5月発行)

OBIRAME Newsletter No.39 May 2013

■発行 ■ 尻別川の未来を考えるオビラメの会

■編集 ■ 平田剛士

■印刷 ■ (株)須田製版(北海道滝川市栄町3-5-16)

■発送 ■ 吉岡俊彦

■口座 ■ ゆうちょ銀行 02720-9-11016 オビラメの会

■事務局 ■ 北海道虻田郡ニセコ町富士見65 吉岡俊彦方

〒048-1501 TEL/FAX 0136-44-2472

<http://obirame.fan.coocan.jp/>

©2001-2013 Obirame Restoration Group

水と空気、みどりの大自然

ニセコが好きだ

楽しんだあとは川を語ろう

まぐろ屋十割

ニセコ町富士見 65 TEL/FAX 0136-44-2472

Email / itou110@sa2.gyao.ne.jp